

2021年度支部活動の基本方針案

支部50年の歴史に学び、これからの新しい同志会活動を創ろう ～したいことを追求する研究活動を展開しよう！～

1. はじめに

昨年度から続くコロナ禍は、学校・保育の現場はもちろんのこと、私たち民間教育団体の活動にも大きな影響を及ぼしました。例会や機関会議、ブロックの活動など多岐にわたって、その意義や携帯を考えざるを得ない状況が続きました。そのような中でも、研究の歩みを止めなかった大阪支部の力に、改めて勇気をもらおうとともに、その看板を背負う責任の重さを痛感しています。

2. 五役体制の刷新

大阪支部は、まさに「世代交代」を迎えています。前支部長の佐々木氏からのバトンを受け取った私を始め、五役の顔ぶれは大きく刷新されました。これまでのような安定した運営を望まれても、すぐには難しいと認識しています。新五役体制も、これからいろんな課題を乗り越え、失敗を経験しながら成長していくと考えていますので、どうぞ厳しくも温かく見守っていただけると幸いです。

3. 方針

①したいことを追求する

私たち民間教育団体は、誰に押し付けられることもなく、自分たちの意思によって研究活動を展開しています。そのことを、会員一人一人が改めて見つめ直してもらえたらと思っています。

「自分は同志会で何がしたいのか」

その答えを、各部局、ブロック、プロジェクト、そして支部全体でしっかりと受け止めていきましょう。何かに追い立てられるのではなく、一度ゆっくり立ち止まってもいいのではないのでしょうか。まずは、研究部でその一歩を進めることにしました。「みんなのしたいこと」を具現化できる支部活動にしていきたいと考えています。

②新しい例会の在り方、組織の在り方について考える

昨年から続く「新しい例会」の形態にも、少しずつ対応できてきました。そして、そんな中で得られたものもたくさんありました。ただ、今後は制限が緩くなっていくことも十分に考えられます。そこでどのような例会を設定していくのか、また新しい課題が出てきそうです。

様々な要因で厳しい状況に置かれているブロックやプロジェクト活動、そして収支の状況など、大阪支部が抱えている切実な課題にも、しっかり目を向けて取り組んでいきます。50年の歴史というノスタルジックな思いも大切にしながら、時には厳しい判断を迫られることも予想されます。ぜひ、また声を届けてください。そしてみんなで一緒に考えていきましょう。